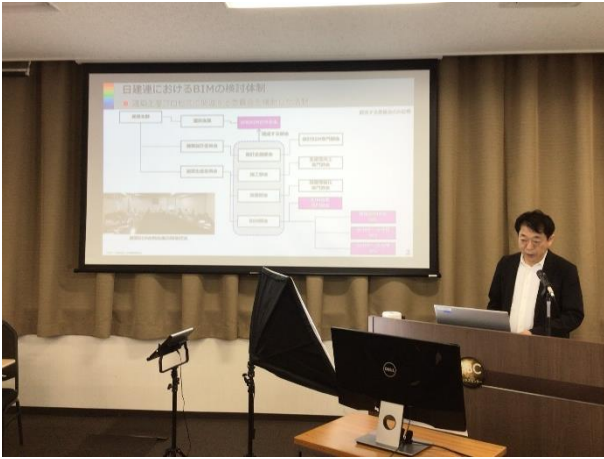


2023 年度日建連 BIM セミナー 開催報告

■セミナー概要

- ・日時： 2023年6月30日（金）9時00分～17時30分
- ・場所： Zoom ウェビナー
- ・参加者 1153名（申込1461名、出席率78.9%）

スケジュール	時間	プログラム	発表者	司会	
9:00 ~ 9:05	0:05	開会挨拶	BIM部会 曾根部会長	三輪主査	
9:05 ~ 9:15	0:10	1) 『日建連建築BIMワークフロー』改訂のポイント	曾根部会長		
9:15 ~ 9:30	0:15	2) BIMモデル承認に関する3カ年の活動成果と生産BIMの現在（いま）	BIMデータ連携WG 塩坂リーダー		
9:30 ~ 9:45	0:15	3) 『施工BIMの活用ガイド』の解説	BIMデータ活用WG 清田サブリーダー		
9:45 ~ 9:50	0:05	4) 『施工BIMのスタイル事例集2022』の解説	BIM啓発専門部会 三輪主査		
9:50 ~ 9:55	0:05	休憩			
9:55 ~ 10:40	0:45	事例発表(1)	浅沼組 横浜宏、奥田大輔 安藤ハザマ 岩倉巧 大林組 濱村明子	吉原委員	
10:40 ~ 10:55	0:15	質疑応答			
10:55 ~ 11:05	0:10	休憩			
11:05 ~ 12:05	1:00	事例発表(2)	奥村組 川辺大介、脇田明幸 鹿島建設 山田和臣 熊谷組 長田公秀、菅野葵 鴻池組 福拓也	田中委員	
12:05 ~ 12:20	0:15	質疑応答			
12:20 ~ 13:20	1:00	昼休み			
13:20 ~ 14:20	1:00	事例発表(3)	五洋建設 中川寿也 清水建設 大槻茂人、岩田健吾 銭高組 辰本あん奈、魚野正志 大成建設 池上晃司、上田恭平	西山委員	
14:20 ~ 14:35	0:15	質疑応答			
14:35 ~ 14:45	0:10	休憩			
14:45 ~ 15:45	1:00	事例発表(4)	竹中工務店 福島一夫 東急建設 三浦正悟 戸田建設 西尾和剛、生田目啓太 西松建設 原康輔、黒川和孝	中村委員	
15:45 ~ 16:00	0:15	質疑応答			
16:00 ~ 16:10	0:10	休憩			
16:10 ~ 17:10	1:00	事例発表(5)	長谷工コーポレーション 佐藤浩介 フジタ 渡邊一憲 前田建設工業 是川敏輝 三井住友建設 坂田優希、鶴岡実	吉田副主査	
17:10 ~ 17:25	0:15	質疑応答			
17:25 ~ 17:30	0:05	閉会挨拶	三輪主査		



BIM 部会 曾根部会長



BIM データ連携 WG 塩坂リーダー



BIM データ活用 WG 清田サブリーダー



BIM 啓発専門部会 三輪主査



安藤ハザマ 岩倉巧



浅沼組 横浜宏、奥田大輔



大林組 濱村明子



質疑応答（浅沼組、安藤ハザマ、大林組）



奥村組 脇田明幸



鹿島建設 山田和臣



熊谷組 長田公秀、菅野葵



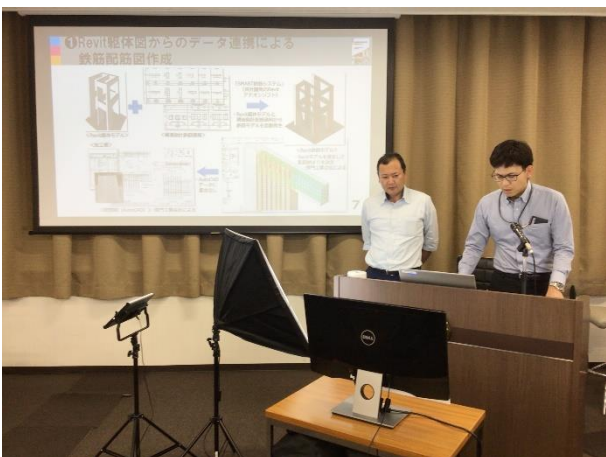
鴻池組 福拓也



質疑応答 (奥村組、鹿島建設、熊谷組、鴻池組)



五洋建設 中川寿也



清水建設 大槻茂人、岩田健吾



銭高組 魚野正志



大成建設 池上晃司



質疑応答 (五洋建設、清水建設、銭高組、大成建設)



竹中工務店 福島一夫



東急建設 三浦正悟



戸田建設 西尾和剛



西松建設 原康輔、黒川和孝



質疑応答 (竹中工務店、東急建設、戸田建設、西松建設)



長谷工コーポレーション 佐藤浩介



フジタ 渡邊一憲



三井住友建設 坂田優希、鶴岡実



前田建設工業 是川敏輝



質疑応答 (長谷工コーポレーション、フジタ、
前田建設工業、三井住友建設)



■曾根部会長開催挨拶より

本セミナーは今年で3回目を迎え、施工からBIMの情報を発信する場として定着してきた。一方、施工BIMの定着とともに設計BIMとの連携のように、建築生産プロセス全体のBIM（建築BIM）を考える時期にきている。建築BIMの検討は日建連の重点課題のひとつに位置付けられており、建築生産プロセスに関連する委員会を横断した活動として、建築設計委員会、建築生産委員会の傘下各部会から代表者が集まる建築BIM合同会議を2021年8月に立ち上げた。2021年度には「日建連BIMロードマップ」を策定し、各部会の活動は本ロードマップに準拠した活動になっている。

今回のセミナーでは、「日建連BIMロードマップ」の目標とした「2030年・BIMを中心とした業務スタイルの定着」に向けた日建連活動の成果物の共有と、ゼネコン19社の事例発表の2本立てで企画した。日建連の提唱する、部分最適から全体最適、正しいデータを連携できるワークフローの定着がどこまで進んでいるか感じて頂ければ幸いである。

■アンケートの回答より

(1)セミナー参加者について

- ◇ 前回2022年度に比べ、申込者1178名→1461名となり24%増、参加者922名→1153名となり25%増となった。
- ◇ 所属会社では、専門工事会社の参加が増え(前年9%→19%)、設計事務所(前年8%→3%)、その他(官庁・自治体、ソフトウェアベンダー、研究・教育機関、デベロッパー・コンサル、その他)の参加があった。
- ◇ 所属部署では、経営、BIM推進部門、施工(現場・内勤)、研究開発が増え、技術・設備・設計部署が減った。

(2)セミナーについて

- ◇ 講演時間は56%が「ちょうどよかった」、42%が「長かった」との評価。
- ◇ 講演時間は、「講演を2回に分けてほしい」また、「後日の配信」を望む意見あり。
- ◇ 発表方法について、「活用毎のグルーピング」、「一社ずつの質疑」、「会社名表記」など意見あり。
- ◇ セミナーの参考度合いは、95%が「参考になった」と回答し、前回の84%から向上した。
- ◇ さらに、個々の発表について、事例発表では35%、日建連報告では25%が「今後の取組みにとっても参考になった」との高評価を得た。

(3)BIMの取組みについて

- ◇ BIMの取り組み状況は「会社として取り組んでいる」は73%と昨年度と変わりはないが、「会社として準備中」および「情報収集中」が若干増えており、BIMを取組む動きがみられた。
- ◇ 施工BIMの目的は、前回とほとんど変わらない傾向となったが、1人あたりの回答が平均2.9から平均2.2と減少しており、目的を絞った取組み実施の傾向がみられる。
- ◇ 施工BIMの適用工種は「仮設工事」「鉄骨工事」「RC躯体工事」「設備工事」「施工図・製作図」が多く前回とほとんど変わらない結果となった。
- ◇ 施工BIMの課題は、前回とほとんど変わらない傾向となったが、「費用対効果」59%→38%、「社内の理解」50%→38%、「データ連携」53%→42%、「メリットが不明」26%→13%と前回に比べ10%以上減少した。